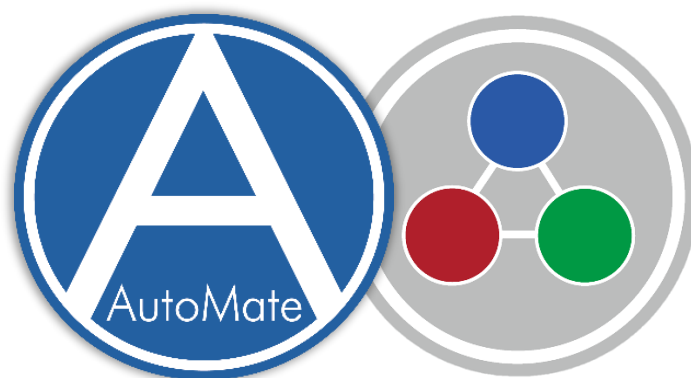


# AutoMate 11 リリースノート

【11.6.0】



三和コムテック株式会社



作成日：2021/09/21

更新日：

空白のページです

## 内容

1	はじめに .....	4
2	AutoMate 11.6.0 リリースノート .....	4

## 1 はじめに

本書は AutoMate 11 ver.11.6.0 の変更箇所について、リリースノートとして記載しています。

## 2 AutoMate 11.6.0 リリースノート

### 【新機能】

- ・ [レコーダー]の機能拡張
  - AutoMate Desktop(アップデート済ライセンスが必要), AutoMate Plus/Ultimate
  - [ステップレコーダー]は[レコーダー]に改名されました
  - レコーダーの起動時に機能概要と使用法を記載したウィンドウが表示されるようになりました
  - Web ブラウザの検索、ブラウザの開閉、タブの管理と Web ページの対話型操作をサポートする新しい Web の対話型操作が追加されました
  - Web ブラウザセッションの開始をサポートする[Web ブラウザを開く]アクションが追加されました
  - レコーダー内でのアプリケーション実行をサポートする[アプリケーションの実行]アクションが追加されました
  - コメントやループ等、対話型ではないレコーダーのステップをレコーディング領域へドラッグ、ドロップできるようになりました
  - レコーダーの UI における対話型ではないステップの表示に対応するようになりました
  - タスクビルダーにて「値を偽装する」のパラメータが有効な時、「値の設定」に基づくステップに「内容は保護されています」と表示されるようになりました
  - レコーディングセッション中にエクスプレッションビルダーが定義された変数とデータセットを表示するようになりました
  - レコーダーが前回閉じられた画面から開くようになりました
  - UI が改善されました
- ・ [ターミナル]アクションの機能拡張
  - AutoMate Desktop, AutoMate Plus/Ultimate
  - [ターミナル – 接続]アクションで SSL/TSL がサポートされるようになりました
  - [ターミナル – 接続]アクションにて TN3270 エミュレーションと TN5250 エミュレーションのウィンドウの解像度が選択できるようになりました
  - [ターミナル – 接続]アクションに TN3270 エミュレーションと TN5250 エミュレーションの切断前に自動サインオフを試みる機能を追加しました
  - [ターミナル – 接続]アクションにて TN3270 エミュレーションと TN5250 エミュレーションのフォントサイズが変更できるようになりました

・ [Web ブラウザ]アクションの機能拡張

※新機能は Chrome、Edge、Firefox のみ対応

- AutoMate Desktop, AutoMate Plus/Ultimate
- アクティブになっているタブの状態を戻ったり進んだりする [Web ブラウザ - 戻る]、 [Web ブラウザ - 進む]アクションが追加されました
- タブ関連のアクションを管理できるよう [Web ブラウザ - タブを閉じる]、 [Web ブラウザ - タブの複製]、 [Web ブラウザ - 新しいタブ]、 [Web ブラウザ - タブの詳細]、 [Web ブラウザ - タブの切り替え]アクションが追加されました
- 開いているページの再読み込みを可能にする [Web ブラウザ - 更新]アクションが追加されました
- Web ページ上のリストとメニューの 1 つ以上の選択を可能にする [Web ブラウザ - リストアイテム]、 [Web ブラウザ - メニューアイテムの選択]アクションが追加されました
- Web ページ上のチェックボックスを選択/解除できるよう [Web ブラウザ - チェックをつける]アクションが追加されました
- [Web ブラウザ - クリック]、 [Web ブラウザ - テーブルの抽出]、 [Web ブラウザ - 値の取得]、 [Web ブラウザ - 値の設定]において、CTRL キーを使うことにより Web ページの要素からメニューアイテムが選択しやすくなりました
- [Web ブラウザ]アクションのアクティビティがカテゴリに応じてタスクビルダー内で並び替えられました
- [Web ブラウザ]アクションの既定のブラウザが IE から Chrome に変更されました

#### 【機能拡張】

- AutoMate Plus/Ultimate は SQL Server 2014 Express SP3 をインストール・使用するようになりました
- タスクビルダーにタスクを 2 分ごとに自動保存するオプションが追加されました
- エクスプレッションビルダーが初期状態ですべてのデータセットフィールドを表示するようになりました
- Server management Console の API Security ページにて AutoMate Plus(Enterprise) REST API 文章 (HelpSystems Community Portal でも取得可能)へのハイパーリンクが可能になりました
- [画像]アクションが.tif と.jpeg のファイル形式へ対応するようになりました。
- 新しい[ファイル システム - Base64 エンコード/デコード]アクションを使用することにより、Base64 を使用したファイルをエンコード/デコードできるようになりました
- 新しい[XML - ノードの抽出]アクションにより、XML ノードの子と対応する値を抽出、データセットへ格納できるようになりました

#### 【不具合修正】

- [ファイルシステム - データセットから CSV]アクションに空欄区切り符号が追加されました
- ワークフローのインポート時に、適切な権限のあるユーザーに対し「アクセスが拒否されました」というエラーメッセージが発生しなくなりました
- 「選択されたものを実行する」が開始ステップ選択状態で押されたとき、全ステップが実行されるようになりました
- 折りたたまれた状態の処理をタスクビルダー上でコピー・ペーストした際に、処理範囲に内包されるタスクが適切にコピー・ペーストされるようになりました
- 正規表現でのエスケープ文字が適切に機能するようになりました
- [PDF - 作成]アクションがランドスケープモードで HTML ファイルを生成するようになりました

- AutoMate Desktop と AutoMate Plus/Ultimate において、「<」や「>」をタスク名に含むタスクがタスクビルダー上で正常に動作するようになりました。
- ピリオドを含むタスク名が、表示されるときにピリオド以降も省略されないようになりました
- 実行中「OnTaskError」が設定されたタスクは保留されず、適切に終了するようになりました
- Server Management Console のプロセスセキュリティツールチップの文章を、許可が「状態」ではなく「処理」に対してであることと表記を修正しました
- [Exchange – オブジェクトの作成]、[Exchange – オブジェクトの取得]、[Exchange – オブジェクトの変更]、[Exchange – オブジェクトの削除]、[Exchange – オブジェクトの移動]アクションが正しく「現在のフォルダ」設定を読み込み、保存するようになりました
- [テキスト – 置換]アクションが正しく正規表現の肯定先読みで置換できるようになりました
- [ターミナル – テキストの送信]アクションは F21 キーコマンドを F20 として認識しなくなりました
- [ターミナル – テキストの取得]アクティビティはアウトプットデータを切り捨てなくなりました
- [ターミナル]アクションはタスク実行の終了時(成功、失敗、切断、または停止)に、自動的に切断を試みるようになりました
- [Web ブラウザ – クリック]アクションは HTML 要素が不可視の場合にエラーを報告するようになりました
- [Web ブラウザ – セッションの割当て]アクションのヘルプページの使用方法に関する表記が改善されました



お問い合わせはこちらまでご連絡ください。

Email : [automate@sct.co.jp](mailto:automate@sct.co.jp)

TEL : 03-3583-4002